

令和4年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

1 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 観点別達成率(経年比較)

*評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

*目標値に対して △上回っている ≍同程度 ▼下回っている

	第4学年			第5学年			第6学年		
	①	②	③	①	②	③	①	②	③
令和4年度	≍	≍	≍	△	△	△	≍	≍	≍
令和3年度				△	△	△	≍	△	≍
令和2年度							△	△	△

(2) カテゴリー別の課題

	中学年	高学年
基礎・活用	目標値と同程度だが、「基礎」と比較すると「活用」に課題	目標値と同程度だが、「基礎」と比較すると「活用」に課題
領域	地域や市の様子・安全を守る働きに課題	国土の自然などの様子・産業と情報との関わり・国土の自然環境と国民生活に課題
解答形式	「短答」「記述」に課題	「短答」に課題

2 昨年度の授業改善推進プランの検証

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめを新聞やポスターで表現すること ・動画視聴したり、タブレットで必要な情報を探したりして、様々な視点から考えること 	<ul style="list-style-type: none"> ・データを分析・活用すること ・学習内容を自分の生活と結び付けて理解を深めること

3 観点別授業改善のポイント

中学年		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・地図記号や方位、都道府県は、他の事柄と関連付けたり、その都度地図帳等で確認する習慣を付けたりする。 ・本時で扱うべき中心概念を明確にして、活用しながら学習を進めることができるよう分かりやすく説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞やポスター、スライドにして学習のまとめを行う。 ・データを使って自分の考えを説明する機会を設定する。 ・体験したことを自分の生活と結び付けながら考える習慣を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに探究する時間を設定し、自分で学習計画を立てて課題解決に取り組めるようにする。 ・自己評価では、疑問に思ったことやさらに調べたいことを考えるようにする。
高学年		
<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、分かったことや分からなかったことを自分の言葉で振り返る時間を確保する。 ・ICT機器を活用して実物に代わる映像資料を提示できるようにする。 ・本時で扱うべき中心概念を明確にして、活用しながら学習を進めることができるよう分かりやすく説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な視点を与えることで、多面的、多角的に考えられるようにする。 ・データから分かることを話し合ったり確かめたりする時間を確保する。 ・ノートや新聞、スライド等多様な表現方法で学習のまとめを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに探究する時間を設定し、自分で学習計画を立てて、協働して課題解決に取り組めるようにする。 ・自己評価では、疑問に思ったことやさらに調べたいことを考えるようにする。